1.8–3 GHz 4入力増幅・合成モジュール



原資料のブロック図は1800–3000 MHzでIN1–IN4の増幅経路を1つのOUTに合成します。表の代表値は利得30 dBと飽和出力5 dBmです。雑音指数、入力間アイソレーション、振幅・位相平衡は未記載で、低雑音性能や合成による性能向上は主張しません。

代表電源5 V、電流350 mAで、貫通コンデンサと独立した接地片を使用します。表の外形は80 × 60 × 14 mm、端子はSMA-Kメスです。電源7 Vと入力12 dBmは絶対最大値。組み込み前に同時入力時の試験条件と最終的な端子配置を確認してください。

電気仕様

項目	値	単位
動作周波数	1800–3000	MHz
利得	30 (代表値)	dB
飽和出力電力（Psat） [1]	5 (代表値)	dBm
入力S11（資料の符号付き値） [2]	−10 (代表値)	dB
電源電圧	5 (代表値)	VDC
動作時電流	350 (代表値)	mA

[1] 飽和出力Psatであり、P1dBや保証線形出力ではありません。

[2] 資料の負のS11表記を保持し、正のリターンロスに変換しません。

絶対最大定格

項目	値	単位
電源電圧の絶対最大定格	≤7 (絶対最大定格。この限界での連続動作や性能は確立されていません。 最大: 7 VDC.)	VDC
入力電力の絶対最大定格	≤12 (絶対最大定格。この限界での連続動作や性能は確立されていません。 最大: 12 dBm.)	dBm
動作温度	−40–+70	°C
保存温度	−40–+85	°C

インターフェースと端子

インターフェース	仕様
RF入力数	4
合成RF出力数	1

インターフェースと端子

インターフェース	仕様
増幅・合成経路	4つの増幅入力を1つの出力に合成 (資料は各経路または同時入力時の試験条件、入力間アイソレーション、振幅・位相平衡を規定していません。合成による性能向上の保証は導きません。)
RF入力コネクタ	SMA-Kメス
RF出力コネクタ	SMA-Kメス
DC電源端子	貫通コンデンサ
接地端子	接地金属片

機械仕様

項目	値	単位
本体寸法	80 × 60 × 14	mm
取り付け穴中心間距離	55.6 × 75.6	mm
取り付け穴	4 × Φ2.7T (原記号4×Φ2.7Tを保持します。資料ではTの意味を説明しておらず、貫通穴を示すとは確認できません。)	mm

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。